

第20回環境情報科学センター賞 受賞者

特別賞

受賞者：江戸川区「マンション通信」編集委員会

対象業績：マンションに関する住環境情報の協働による発信—
マンション通信の継続的発行の取り組み



【受賞理由】

「マンション通信」の発行を中心にセミナーや相談なども行い、しかも公募市民と江戸川区の協働で平成15年3月から継続してきたことから特別賞に値すると評価された。

近年、都市部において分譲マンションが建設されているが、住環境や維持管理に関して様々な問題・課題が生じている。マンションによっては管理会社にすべてお任せで管理組合員が主体的に動いていないことなども大きな問題点である。また管理組合の理事が輪番制でマンション管理の情報やノウハウを持ち合わせていない場合もあることも課題と考えられる。

こういった分譲マンションの問題・課題をいち早くとらえ、江戸川区においては平成15年からこの取り組みを始めていることは評価に値する。この「マンション通信」も年4回 68号という継続の実績も評価された。

江戸川区内の分譲マンションに「マンション通信」という情報が届くことで啓発につながっている。またセミナーや相談会に参加することでさらに分譲マンションの管理組合員にとってマンションの維持管理の大切さが理解できることにつながっていると考えられる。また適切な管理をしていくためには管理組合員の関心を高め日常的なコミュニティ醸成が大切ということも伝わっていることと思う。とくにこの編集委員会に参加した区民に対してはマンション管理のリーダーを育てることにもつながっているのではないかと評価される。

委員会で主に議論されたことは次のステップへの意見交換であった。

①維持管理の問題は分譲マンションに限らず、賃貸マンションや一般住宅にも考えられる課題である。ぜひこの活動をそこまで広げていけないものか。

②江戸川区が強力にこの施策を進めており、行政からの情報発信も評価される、一方この活動を継続・発展させていくためには区民（分譲マンション管理組合員）たちがもっと主体的にマンション管理ネットワークのような動きに進めていけないかということがある。（横浜や川崎ではそのような事例もある。）

そのような点を今後がんばっていただきたいということを添えて期待を込めて特別賞として評価することとした。